

# 被災者に温かい正月を

## 復興支援はみんなで継続することが一番

# 東日本震災復興しんぶん

発行 足立支部災害対策委員会  
東京土建

### 湯たんぽ、百二十個を贈る

東京も寒さが増してきました。今年一段と寒さが厳しいのは東日本大震災で被災されたみなさんではないでしょうか。寒さ対策のために何が良いかを宮古建設組合に相談したり、

元組合員の宮古在住者に聞いたときに「湯たんぽ」が良いと決めました。

寒さ対策には急を要するために支部役員、常任・書記、職員が一人一個以上の支援 足立支部では

各分会には二個以上(二千円)をお願いしました。委員長のお十個、被災地出身者の四個など温かい「湯たんぽ」を購入できました。宮古建設組合に直接贈ります。

### 被災缶詰会社が復興し一般販売をはじめました。

足立支部では被災地が「一歩」と位置づけ被災され流失した缶詰の販売支援を続けました。

### 被災高校生が企画・販売の「水」の購入支援を



誰かのためにという復興精神から生まれたのが東北の水「だれかのために」。漁業の町、岩手県宮古市も水産市場周辺は流失にあり、市役所、宮古駅などの中心部も津波の被害にあいました。「私たちが何かやろう」と話し合ったのは岩手県立宮古商業高校のみなさんです。支部では学校から仕入れ支援しています。一本を。

五百円 一本 百円

被災された缶詰会社は今回の津波被害でも大きな被害を受けた宮城県石巻市の株式会社木の屋石巻水産。夏まつりや秋の活動者会議などを中心に取組み約七百個の支援につながりました。

テレビなどでも被災から復興への道のりが分かりやすく報道されました。被災缶詰も全国の協力のなかで終わり、このほど一般販売が始まりました。第一弾は「ひげ鯨の大和煮」です。七個入り



### 宮古建設組合からお礼

全建総連岩手県連・宮古建設組合からお礼状がとどきました。裏面に掲載をします。